

2019年6月24日

株式会社ナカヨ

## IoT「無線データセンシングシステム」の提供を開始

～IoT「無線データセンシング」に向けたエッジ端末と2方式の無線機を提供開始～

(2019年7月10日発売予定)

株式会社ナカヨ(本社:群馬県前橋市、代表取締役社長:谷本佳己、株式コード 6715)は製造現場をはじめ、IoTにおけるセンシングしたデータを一元集約するIoTエッジ端末「NYC-EDGE-L」、「NYC-EDGE-3」及びプライベートLoRa通信方式と920Mマルチホップ通信方式の2方式の無線機の納入を8月より開始いたします。

ロケーションや利用目的に合わせた二つの無線方式により、現場・設備の「データセンシング」「見える化」をサポートします。

### 【サービス内容】

ナカヨの無線技術、M2M市場への納入実績と自社製造現場のIoT活用で培った製造設備への後付け・外付けの仕組みを活かし、データの蓄積・収集の課題を解決する無線エッジ端末装置「NYC-EDGE-L」、「NYC-EDGE-3」を提供開始致します。

NYC-EDGEシリーズ※1)は、現在販売中の「ファクトリーNYC(製造/設備データ 無線収集システム)」でナカヨが提供しているマルチホップ機能を持つNT920シリーズ※2)や、同時発売するプライベートLoRa通信方式を特長としたNTLoRaシリーズ※3)と連携し、IoT活用に必要なデータを統合的にサポートするシステムを提供します。

NYC-EDGEシリーズに集約されたセンサデータは、IoT領域で汎用的に使われるプロトコルであるMQTTでAmazon Web Services (AWS)等のクラウドサービスに転送が可能です。これにより早期にIoTのビジネス化を支援します。

また、センシングで集めた温度、風量、漏液といった情報を見える化するアプリを搭載しており、日常点検業務や手軽にできるIoTのPoC用途として活用頂けます。

この度、新発売となります無線データセンシングシステムは東京ビッグサイトにて7月24日(水)～26日(金)の期間で開催される「第11回 生産システム見える化展」に出展致します。弊社ブースでは、デモンストレーションも交えて展示致します。

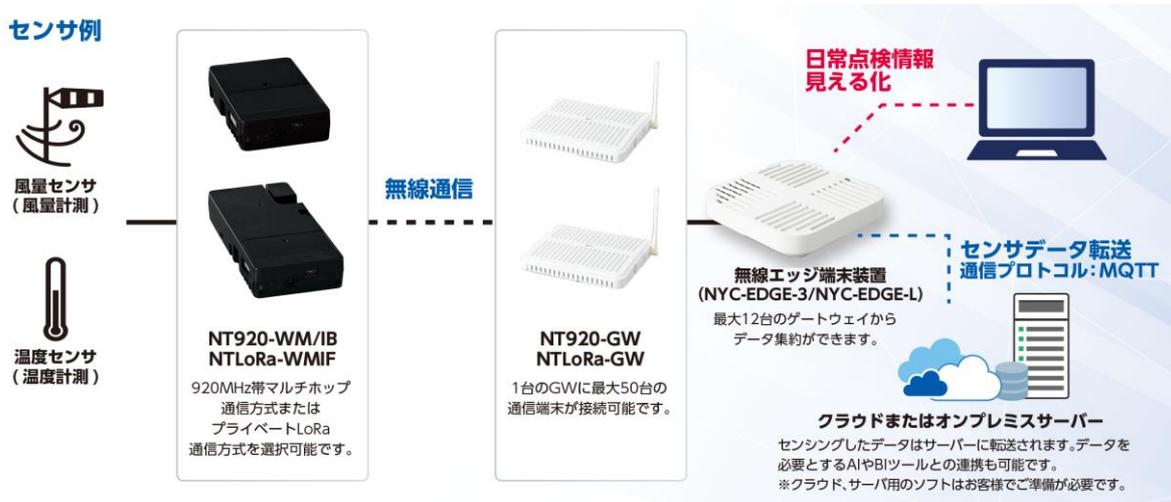
※1) NYC-EDGE シリーズ 「NYC-EDGE-L」 LAN 専用無線エッジ端末 「NYC-EDGE-3」 3G/LTE 専用無線エッジ端末

※2) NT920 シリーズ 「NT920-WM/IB」 アナログ、UART、I2C のセンサ接点を持つ無線機器、「NTLoRa-GW」 920MHz マルチホップ通信方式対応 GW

※3) NTLoRa シリーズ 「NTLoRa-WMIF」 アナログ、UART、I2C のセンサ接点を持つ無線機器、「NTLoRa-GW」 プライベート LoRa 通信方式対応 GW

## 【システム構成図】

センサが計測した設備の動きや、近接値、温度、風量、漏液などの情報を NT920 シリーズ、NTLoRa シリーズで無線送信し、センシングデータは NYC-EDGE-3/L で集約します。NYC-EDGE-3/L は集約された情報を上位のサーバーに定期的に送信することでデータを収集・蓄積します。



システム構成例

## 【製品外観】



左から「NYC-EDGE-L (NYC-EDGE-3)」、「NTLoRa-GW」、「NTLoRa-WMIF」

標準価格は システムで 153,900 円～を予定、8 月より順次納入予定。

※デザインは改良のため、予告なく変更される可能性がありますのでご了承ください。

## 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ナカヨ 営業統括本部 IoT 推進部 <http://www.nyc.co.jp/>

〒108-0075 東京都港区港南一丁目 7 番 18 号 A-PLACE 品川東 7 階

TEL 03-6433-1184

E-mail [kikaku\\_info@nyc.co.jp](mailto:kikaku_info@nyc.co.jp)